

瓢箪沼

かつて、この沼はひょうたんのような形をしていたことからこの名前が付けられました。しかし、沼は湿地から森林への移行に伴って縮小しているため、今ではその形は分からなくなっていました。目の前の浅く澄んだ沼の中に、底に沈んだ枯れ葉などの堆積物が見えます。この堆積物が分解されて水位が低くなると、スゲやイグサ（沼の右側に見える）が生えます。やがてヨシ（沼の向こうの中景に見える丈の高い草）が育ち、沼は湿地に変わります。長い時間をかけて、この湿地は陸地となり、トチノキとブナの森となるのです。